

「この人 51」

ひがし 愛 71歳 静岡県

編集部 俳句を始められたのは？

ひがし 三十歳の頃、職場俳句で始めました。滑稽俳句は、八木会長との出会いがきっかけです。

編集部 滑稽俳句の魅力は？

ひがし 物事の本質に迫ることができるところが、いいですね。

編集部 俳句における滑稽とは？

ひがし 「面白うてやがてかなしき鵜舟哉（芭蕉）」を思わせる神妙なものです。ただ、なかなか、そのような作品は作れませんね。

編集部 滑稽俳句を続けていて良かったことは？

ひがし 滑稽俳句は、実作四年程度ですので、「続けていて」とは言えないかもしれませんが、「花鳥諷詠」では詠めない「人事」にも正面から取り組めるところでしょうか。

編集部 滑稽俳句を作るコツは何でしょうか。

ひがし 先ず、季語の本質を知ることが大切です。それから、身の回りの総ての物事に関心をもつことですね。

【代表句】（滑稽俳句）

浮かれ猫パトカー任せの鼠捕り
振花のねぢれねぢれて誉めらるる
一番の長老となり屑金魚
褒められし後値切らるる大西瓜
猪垣の高圧電流人に効く